

コンエアー
ウルトラパワー
スチーマー[®]
65 minutes
GS-65J

家庭用

CONAIR[®]
取扱説明書



目 次

安全上のご注意	1 ~ 3
各部のなまえ	4
知っておいていただきたいこと	5
アタッチメントの取り扱いかた	6
ご使用の前に	7
使い方	8
簡易ズボンプレッサーを使用する	9
アイロン台を使用する	9
使い終わったら	10
使用できる布の種類と適性	11
お手入れ	12
故障かな?と思ったら	12
保証とアフターサービス	14
仕様	裏表紙

日本国内専用
Use only in Japan

このたびはコンエアー社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず、この取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

- * ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- * ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

△警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。

△注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの。

本文中の絵表示の意味



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

日本国内専用

この商品は日本国内のみでご使用いただけます。

△ 警 告

	<p>改造はしないでください。 修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。 火災・感電・けがの原因となります。 修理は当社修理センターにご相談ください。</p>		<p>子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。 やけど・感電・けがをする恐れがあります。</p>
	<p>コンセントを単独で使用してください。 延長コードのご使用や、たこ足配線はお控えください。異常発熱・発火の原因となります。</p> <p>電源コードは必ずゆとりを持たせて使用してください。 電源コードが引っ張られたり、屈曲が繰り返されるとショートします。</p> <p>電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。 感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。</p> <p>電源プラグを清潔にしてください。電源プラグの、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。 火災の原因となります。</p>		<p>引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。</p> <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。</p> <p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。 また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p>

安全上のご注意

警告

	<p>交流100V以外では使用しないでください。(日本国内専用) 火災・感電の原因となります。</p>			<p>次のようなときは、使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンセントに差し込んだ電源プラグがグラグラ動く。 ●電源コードや電源プラグが異常に熱い、または煙が出ている。 ●電源コードに深い傷がある。 ●電源コードや電源プラグが焦げている。
	<p>電源コードがよじれたままでは使用しないでください。 断線してショートし、火花が出ることがあります。</p>			<p>業務用として使用しないでください。また不特定多数人が使う場所に置かないでください。 連続過負荷による故障の恐れがあります。</p>
	<p>本体に電源コードを巻きつけないでください。 また、電源コードを束ねたまま使用しないでください。 電源コードがねじれて断線・ショート・火災・感電の原因となります。</p>			<p>水につけないでください。また、浴室内やぬれた手で使用しないでください。 水の中に倒れた場合、すぐにプラグを抜いてください。 又、水に手を入れないでください。 ショート・感電の原因となります。</p>
	<p>使用中や使用後しばらくは、高温部(スチームヘッドおよびスチーム噴射口)とスチームには触れないでください。 やけどの原因となります。</p>			<p>使用後は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や事故の原因となります。</p> <p>使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。</p> 

注意

	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 感電やショートして発火することがあります。</p>			<p>本体を傾けたり、前後に激しく動かさないでください。 やけどの原因となります。</p>
	<p>給水・排水時は電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電することがあります。</p>			<p>不安定な場所で使用しないでください。 毛足の長い敷物や不安定などごろに置くと転倒して敷物の損傷やけが、やけどの恐れがあります。</p>
	<p>運ぶときは、十分に冷めていることを確認してください。 けがや、やけどの原因となります。</p>			<p>使用中は本体から離れないでください。 火災の原因となります。</p>
	<p>本体から水が漏れている場合は、ただちに使用を中止し当社修理センターにご相談ください。 ショート・感電の原因となります。</p>			<p>落としたり、ぶつけたりしないでください。 感電・発火の原因となります。</p>
	<p>アタッチメントを交換するときは、完全に冷めてから行なってください。 やけどの原因となります。</p>			<p>布などでスチームヘッドをくるまないでください。 部分過熱して発火することがあります。</p>

安全上のご注意

⚠ 注意

<p>使用中スチームヘッドを人に向けないでください。 やけどの原因となります。</p> 	<p>高級品や特殊加工品、熱に弱い生地に使用する場合は、スチームを使用できる素材でも、目立たないところでためしがけをしてからお使いください。</p> 
<p>水タンクには上水道の水以外は入れないでください。 また、お湯やミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、リンewaterなどの香料を含んだ水なども入れないでください。</p>	<p>海外では使用しないでください。(日本国内専用) やけどや発火の原因となります。</p> 
<p>衣類の取扱絵表示で、☒の表示があるものは使用しないでください。</p>	<p>毛足の長い衣類は、かけ面を離して使用してください。</p> 
<p>皮革製品には使用しないでください。</p>	<p>浴室や湿気の多い所に保管しないでください。 劣化により感電することがあります。</p> 

各部のなまえ

アイテムがすべてそろっているかを確認してください。



付属品

給水カップ



ドアハンガー



アタッチメント



ブラシ

繊維を整えながら、より奥へスチームを届けます。



ソフトクッション

スチーム噴射口から衣類を適度に離すことで、デリケートな素材を守ります。



簡易ズボンプレッサー

はさんでスチームをあてる
ことにより、ズボンに折り
目をつけます。

知っておいていただきたいこと

使用前

- 水タンクの中には、上水道の水以外入れないでください。
お湯やミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、リネンウォーターなどの香料を含んだ水などを水タンクに入れると、破損や故障の原因となります。
- 長期間使用していない場合など、たまたま水分が水や湯玉となって出る場合があります。
数十秒程度スチームを出してから使用してください。

使用中

- 衣類にスチームを当てる際は目立たない部分でためしてから行ってください。
裾や布地の裏などでためしてください。
- 皮革製品、人工皮革製品には使用しないでください。
- 編素材はシワが伸びにくい場合があります。
- 洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、スチームを当てる時、変色することがあります。
衣類をよくすすぎ、乾かしてからスチームを当ててください。
- 人に向けてスチームを出したり、衣類を着用したままスチームを当てないでください。
スチームは高温のため、やけどの原因になります。
- 本体（水タンク）は常に水平で安定した場所に置いてください。
やけどの原因になります。

使用後

- 水タンクに残った水は必ず捨ててください。
残った水をそのままにしておくと、故障の原因となります。

アタッチメントの取り扱い方

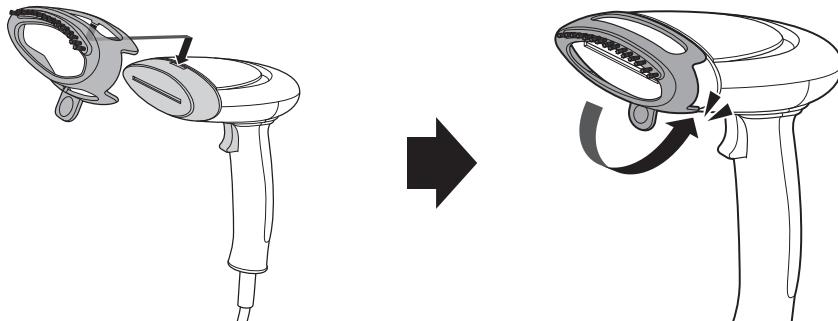
▲ 注意

[ON/OFFボタン] が [OFF] になっていることを必ず確認し、スチームヘッドおよびスチーム噴射口が完全に冷めているときに行ってください。

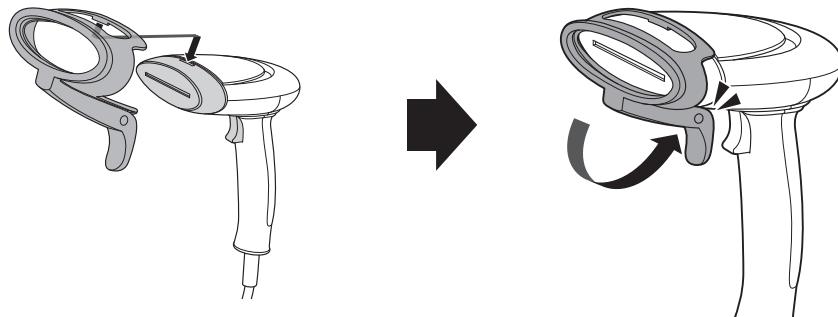
取り付け方

- ① スチームヘッド上部の凹みにアタッチメント上部のツメをはめ込みます。
- ② カチッと音がするまで押して固定します。

ブラシ／ソフトクッション



簡易ズボンプレッサー



ご使用の前に

準備

1 水タンクに水を入れます。

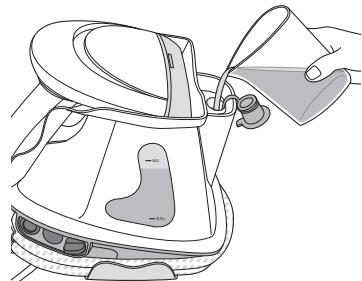
① 水タンクキャップを開けます。

水タンクキャップは本体と繋がっています。開ける際引きちぎらないようご注意ください。

② 給水カップで水タンクに水を入れます。

水タンクにある“MAX”位置を超えないよう給水してください。

③ 水タンクキャップを閉めます。



▲ 注意

- 水タンクの中には、上水道の水以外入れないでください。

お湯やミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、リネンウォーターなどの香料を含んだ水などを水タンクに入れると、破損や故障の原因となります。

2 衣類をお手持ちのハンガーにセットします。

ハンガーをかける場所がない場合は、付属のドアハンガーを室内のドアなどにかけて使用してください。

▲ 注意

- ガラスがはめこまれたドアには、ドアハンガーを使用しないでください。
ガラスの破損の原因となります。

- ドアハンガーは厚さ3cm程度のドアに取り付け可能です。
厚いドアに無理に取り付けないでください。破損の原因となります。

- ドアの加熱、変形、変色にはご注意ください。

- 熱に弱い素材のハンガーは使用しないでください。

ハンガーの破損、衣類への色うつりの可能性があります。

- ドアハンガーは、衣類を一時的にかける目的のみで使用し、衣類を長時間かけたままにしたり、衣類以外をかけないでください。

3 目的に応じて、 アタッチメントをスチームヘッドに取り付けます。(P.6 参照)

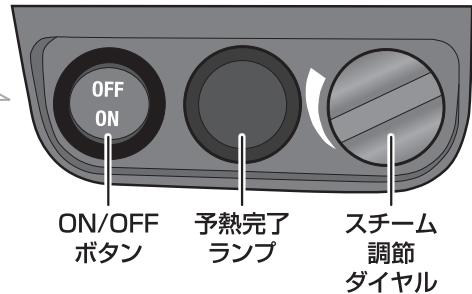
使い方

スチームを当てる

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。[ON/OFF ボタン] を [ON] にすると電源が入り、赤色に点灯します。

[ON/OFFボタン] を押すと予熱がスタートします。[予熱完了ランプ] が緑色に点灯したら使用可能です。

- 約1分で使用可能になります。



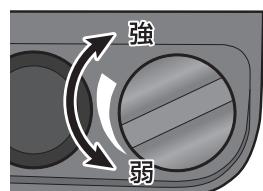
お願い

電源を入れたら絶対にその場から離れないでください。

2 [かけ面] を衣類に当てながら [スチームトリガー] を引いて、スチームを出します。

[スチームトリガー] から手を離すと、スチームが止まります。

スチームの量を調整したい場合は [スチーム調節ダイヤル] をまわしてください。

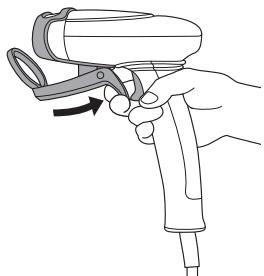


▲ 注意

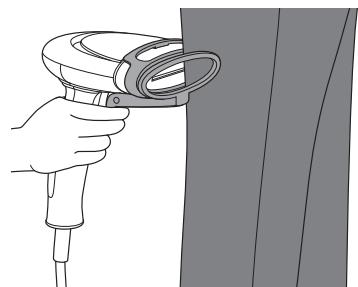
- 高温部（スチームヘッドおよびスチーム噴射口）、スチームに触れないでください。やけどの原因となります。

簡易ズボンプレッサーを使用する

- 1 ズボンをハンガーにかけ、[簡易ズボンプレッサー]を開きます。
(取り付け方はP.6 参照)



- 2 プレスしたい箇所をはさみ、
[スチームトリガー]を引きながら、ゆっくり動かします。



アイロン台を使用する

えりやそでなど、しっかり仕上げたい箇所は、アイロン台やアイロン用ミトンを使用してください。

その際、本体（水タンク）は水平で安定した場所に置いてください。



▲ 注意

- スチームが手にかかるないよう、注意してください。
やけどの原因となります。
- 衣類の絵表示でアイロンのかけかたの表示が△
または○のものは、ソフトクッションアタッチメントを使用してください。



使い終わったら

1 [ON/OFF ボタン] を [OFF] にして電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

▲ 注意

電源を切った後、約30分はスチームヘッドおよびスチーム噴射口は高温ですので、触れないでください。

2 水タンクに残った水を捨て、よく乾燥させます。

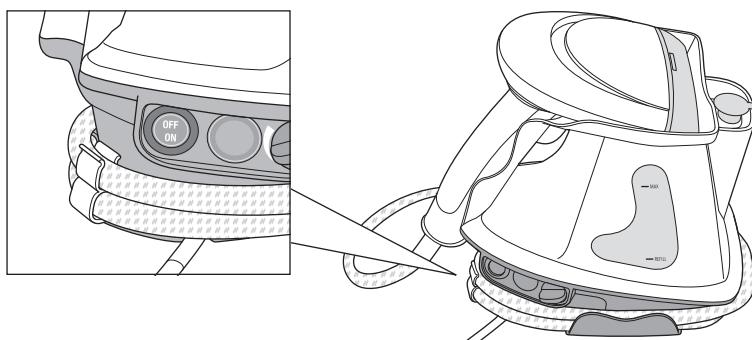
水タンクキャップを開けて、水を捨ててください。

▲ 注意

- 必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体が完全に冷めてから行ってください。
- 使用後は水タンクに残った水を必ず捨ててください。
残った水をそのままにしておくと、故障の原因となります。
- 水タンクに残った水を捨てる際、本体やスチームヘッドに水がかからないよう注意してください。

3 ホースを本体に巻き付けて収納します。

ホースを付属のクリップに通すと、まとまりやすくなります。



使用できる布の種類と適性

○…使用可、×…使用不可

素材	適性	素材	適性	素材	適性
皮革製品	×	アクリル	○	ポリエステル	○
ウール	○	シルク ^{※1}	○	麻 ^{※2}	○
カシミヤ ^{※1}	○	レーヨン	○	綿	○

※1 ソフトクッションアタッチメントを使用してスチームを当ててください。

※2 素材によってはシワが伸びにくい場合がございます。

上記の素材・適性表は目安です。ご使用の前には衣類の絵表示・素材を必ずご確認ください。
素材が不明の場合は、衣類メーカーにお問い合わせください。

▲ 注意

- 衣類の絵表示でアイロンのかけかたの表示が^高または^低のものは、ソフトクッションアタッチメントを使用してください。
- 混紡素材の衣類は、含まれるすべての素材をご確認の上、使用してください。
- 高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。(ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミヤなど)
- 毛足の長い衣類やデリケートな素材は、ソフトクッションアタッチメントを使用してください。
- 皮革製品類には使用できません。
- 飾り付衣類の装飾部分にスチームを当てる場合、素材（プラスチック等）によっては変色・変形・変質の恐れがあります。そのような素材の場合には、ご使用をお控えください。装飾部分の素材に関しては、衣類メーカーにお問い合わせください。

お手入れ

お願い

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、スチームヘッドおよびスチーム噴射口が完全に冷めているときに行ってください。

通常のお手入れ

- ご使用後は必ずスチームヘッドおよびスチーム噴射口、本体を乾いたやわらかい布などで拭いてください。
- かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水を含ませた布で拭き取ってから、乾いた布でていねいに拭いてください。

スチームの出が悪くなったときのお手入れ

- 針やピンなどでスチーム噴射口の汚れを取り除き、ぬれた布で拭き取ってから、乾いた布でていねいに拭いてください。
- 掃除の直後に使用すると布地を汚すことがありますので、必ず数分間スチームを出してから使用してください。

▲ 注意

- 本体に直接水をかけて洗わないでください。故障や感電事故の原因になります。
- タワシ・みがき粉・シンナー・ベンジンなどでみがかないでください。

故障かな?と思ったら

次の点検をしていただき、それでもなお異常のあるときは事故防止のため使用を中止し、当社修理センター（P.14参照）にご相談ください。お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対にしないでください。

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。【ON/OFFボタン】が【ON】になっているか確認してください。
スチームが出ない	<ul style="list-style-type: none">電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。【ON/OFFボタン】が【ON】になっているか確認してください。水タンクに水が入っているか確認してください。
スチームの量が少ない	<ul style="list-style-type: none">スチーム調節ダイヤルでスチームの量を調節してください。スチーム噴射口が詰まっている可能性がありますので、上記のお手入れ方法を確認してください。
スチームヘッドから水・湯玉が出る	<ul style="list-style-type: none">長期間使用していない場合など、たまつた水分が水や湯玉となって出る場合がありますが、通常数十秒程度で止まります。スチーム噴射口が詰まっている可能性がありますので、上記のお手入れ方法を確認してください。

Memo

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理は、当社修理センターへ

保証書(裏表紙をご覧ください)

よくお読みのあと、お買い上げ日がわかる明細書と一緒に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から

本体1年間 ※付属品、アタッチメントの
保証はございません

補修用性能部品の保有期間

当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、最低5年保有しています。

修理を依頼されるときは

●保証期間中は

保証書の規定に従って、当社修理センターが修理受付させていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご用意のうえご連絡ください。

●保証期間を過ぎているときは

ご要望により有償修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	コンエア ウルトラパワースチーマー 65 minutes
品番	GS-65J
お買い上げ日	年 月 日
故障の原因	できるだけ具体的に

コンエアージャパン合同会社 お客様相談窓口のご案内

品名・品番をご確認のうえ下記窓口へ

修理ご相談窓口

コンエアージャパン 修理センター

 0120-137-240 •修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます

受付時間：9:30～18:00 (土日・祝日・年末年始などの長期連休を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

コンエアージャパン合同会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

無償修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理とさせていただきます。
 - ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
 - 一般家庭以外（例えば、業務用の使用、車両や船舶への搭載）に使用した場合の故障及び損傷。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - お買上げ年月日、お客様名、販売店名等記入が必要と定めた事項の記入がない場合、あるいは字句が書き替えられた場合。
 - 取扱説明書に記載されていない方法で使用した場合の故障及び損傷。
 - ご使用後のお手入れを怠ったことによる故障及び損傷。
 - 消耗部品は無償修理の適用除外となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報（お名前、ご住所、電話番号）は保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間及び条件により無償修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、当社修理センターにお問い合わせください。なお、この保証書によって、保証書を発行している者、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※This warranty is valid only in Japan.

※For use only in Japan.

仕様

品名: コンエアー ウルトラパワースチーマー 65 minutes

品番: GS-65J

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	1200W
大きさ(約)	高さ 335 × 幅 315 × 奥行 190mm ※収納時
総重量(約)	1.7kg
水タンク容量(約)	1.5ℓ
連続運転時間(約)	65分
電源コードの長さ(約)	1.9m
付属品	ブラシ、ソフトクリッショングリッパー、簡易ズボンプレッサー、給水カップ、ドアハンガー

※製品のデザインは改善のため予告なく変更することがあります。

※製品の色は印刷物に比較して実際の色と少し異なる場合があります。

※イラストは簡略化して表現してあるため商品と多少異なります。

愛情点検



長年ご使用の製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- ご使用中、コード・電源プラグが異常に熱くなる。
- コードを折り曲げると通電したりしなかったりする。
- 通電中に異常な音がする。
- その他の異常・故障がある。

使用中止

電源プラグを抜き、故障や事故防止のため、当社修理センターまで点検・修理をご相談ください。

CONAIR® コンエアー ウルトラパワースチーマー 65 minutes 保証書

品番: GS-65J

お客様	ご住所	電話 () —		
	お名前	様		
保証期間	本体のみ 1年	お買上げ日	年	月
販売店	住所・店名			

本書は、お買い上げ日から1年以内に故障が発生した場合に、本書裏面記載内容で無償修理を行なうことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の目的は本書裏面をご参照ください。

枠内に記入のない場合は無効となります。
必ず記入の有無をご確認ください。

お買い上げ日がわかる明細書などを保証書と一緒に保管してください。

コンエアージャパン合同会社

〒107-0062
東京都港区南青山1丁目15-41